

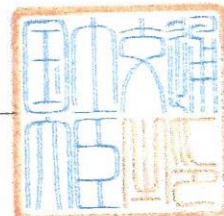


# 認定書

国住指第 1066 号  
平成 20 年 8 月 7 日

株式会社縄文  
代表取締役 山本 博 様

国土交通大臣 谷垣 禎



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
NM-2040
2. 認定をした構造方法等の名称  
粘土系仕上塗材塗/不燃材料（金属板を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存してください。

## 《クレイペイントと一般ビニル壁紙の吸放湿量の測定》

### 1. 試験体

#### 1) 試験材料の種類

- A : クレイペイント (ホワイト)
- B : 一般ビニル壁紙 (厚み 0.40mm)

#### 2) 試験体の仕様

- (A) : 不燃石膏ボード(12.5mm)表面にクレイペイント(糊付)を  $200\text{g}/\text{m}^2$  (WET) 塗布したもの。
- (B) : 不燃石膏ボード(12.5mm)表面に一般ビニル壁紙を接着剤(ル-アマイド<sup>®</sup>)量  $120/\text{m}^2$  (WET) で施工したもの。

#### 3) 試験体のサイズ

11cm×11cm の試験体の裏面と端面をアルミテープでシーリングし、有効表面積を  $10\text{cm} \times 10\text{cm} = 100\text{cm}^2$  とする。

### 2. 試験方法

- ① 試験体を温度  $25^\circ\text{C}$ 、湿度  $50\%$  の恒温高湿槽にて 24 時間養生し、試験体重量を測定し、ブランク重量とする。
- ② 次に試験体を温度  $25^\circ\text{C}$ 、湿度  $90\%$  の恒温恒湿槽に 24 時間放置し、試験体重量を測定する。
- ③ ②-①より試験体の  $\text{m}^2$  あたり、24 時間の吸湿量を求める。
- ④ 次に恒温恒湿槽を温度  $25^\circ\text{C}$ 、湿度  $50\%$  に戻して試験体を 24 時間放置し、試験体重量を測定する。
- ⑤ ②-④より試験体の  $\text{m}^2$  あたり、24 時間の放湿量を求める。

### 3. 試験結果

材 料	吸湿量※1	放湿量※2
	$\text{g}/\text{m}^2 \cdot 24\text{h}$	$\text{g}/\text{m}^2 \cdot 24\text{h}$
(A) クレイペイント (糊付)	49.02	44.68
(B) 一般ビニル壁紙	14.90	14.13

※1 吸湿量 :  $25^\circ\text{C} \cdot 90\% \cdot 24$  時間の試験体重量から  $25^\circ\text{C} \cdot 50\% \cdot 24$  時間の試験体重量を除いた値。すなわち湿度を  $50\%$  から  $90\%$  に変化させた時、試験体が 24 時間時間で吸湿する量を表す。

※2 放湿量 : 湿度を  $90\%$  から  $50\%$  に変化させた時、試験体が 24 時間時間で放湿する量を表す。

以上